

CONTENTS

- 2/3 情勢・敵基地攻撃で全国が戦場に
- 30by30 の内実確保を
- 4/5 東京アースデイに参加します！
- 第 5 回 online セミナー案内
- 6/7 交流広場
- コラムー龍宮神信仰の残影
- わんさか通信★ジュゴンのわ



この2月ロシアによるウクライナ侵攻から1年が経ちました。日々ニュースを見ながら武器提供ではなく、対話による停戦をと願わずにいられません。昨年ウクライナへの侵攻の際、バイデン米大統領、岸田首相は「武力による現状変更を認めない」とロシアを非難しましたが、20年前の2003年3月ジョージ・ブッシュ大統領（当時）が「大量破壊兵器の保持」を名目にイラクに侵攻、小泉純一郎首相（当時）が真っ先に支持を表明しました。民間人の犠牲者が数十万人にも及びましたが、開戦当初、アメリカの攻撃を批判し、市民の被害を報道するメディアがとても少なかったと記憶しています。

HopeSpot (希望の海) に基地ではなく保護区を!

一方、世界各国で大規模なイラク反戦運動が起こり、日本でも市民デモが繰り返し行われました。私も生まれてはじめてデモに参加。そこで SDCC のメンバーと出会い、ジュゴンと辺野古の基地計画のことを知りました。その年の 5 月 SDCC 主催の初の辺野古ツアー「ザンぬ海あしび」に参加し、船やカヌーで辺野古の海を巡りました。辺野古の浜前のイノー（浅い海）では、ジュゴンが食べる 7 種の花菜を採取、命あふれる辺野古の海に魅了され、この海を壊してはいけないと強く思ったのでした。

それから 20 年、海草が茂っていたイノーは埋め立てられ、ジュゴンが姿を消し、長島・平島に営巢にしていたエリグロアジサシも数が激減してしまいました。しかし、基地に反対し海を守ろうとする民意はずっと変わらず、その思いは 2019 年の辺野古・大浦湾一帯のホープスポット（希望の海）認定に結実。そして 2022 年の生物多様性条約会議では、2030 年までに海の 30% を保護区とすることが採択され、海の生態系を守る取り組みが進んでいます。ジュゴンを守る事は平和な未来を創ること。ホープスポット（希望の海）を海洋保護区にして、豊かなジュゴンの海を取り戻しましょう！（関西 山根富貴子）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp

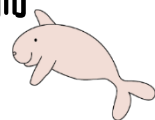


沖縄県庁前の県民広場で開催された 2.26 緊急集会でお話しをする浦島さん（4面）。



名護市瀬嵩の浜に続き、同安部の海岸にも設置された
ホープスポットの看板(写真提供:日本自然保護協会)。

日本の戦場化を容認する敵基地攻撃論 ～全国から戦争反対の声を～



3月6日、玉城デニー知事は米国政府や連邦議会議員に県民の声を届けるために訪米しました。9日記者会見では「埋め立て予定海域で見つかった軟弱地盤に関し、技術的に工事完成は困難」「建設中断と計画の再検討」などを政府や連邦議会議員（共和党、民主党）に要請したことや、アジア太平洋系米国人労働者連合（APALA）と意見交換したことを明らかにしました。昨年9月米国連邦議会軍事委員会に送った書簡など市民社会が取り組んできた成果が実ってきています。環境人権平和を求める国際的な連帯が今こそ重要です。

岸田内閣は「台湾有事」を口実に中国本土の軍事目標を攻撃できるトマホーク 400 発を今年度予算で購入しました。トマホーク購入はバイデン米国大統領におもねる一方、日中平和友好条約に反するもので中国政府の軍備増強に手を貸すものです。岸田内閣の世論操作で、「敵基地攻撃能力保有」に賛成 50%、反対 43%と過半数を占めています。しかし、沖縄では賛成が 31%、反対は 56%と正反対。反対の理由で最も多いのが「沖縄が他国の標的にされるから」（59%）です（共同通信 12 月 17、18 日）。敵基地攻撃能力保有に賛成することは先制攻撃の脅威を他国に与えるからです。3月5日、石

垣市内でミサイル発射機・弾薬搬入に反対する「島々を戦場にさせない!全国集会 in 石垣島」が 200 人の参加で取り组まれました。「2・26戦場化させない県民集会」（4面参照）をふまえて石垣集会に参加した山城博治さんが「台湾は独立しないと言い、中国は独立しないなら侵攻しないと言っている」「日米は無謀な挑発、軍事要塞化を止めよと、全国・世界に発信したい」と戦争反対に立ち上がることを呼びかけました。沖縄だけが他国からの標的ではありません。米国シンクタンク CSIS（戦略国際問題研究所）が公表したシミュレーションでは、嘉手納（沖縄県）をはじめ、岩国（山口県）、横田（東京都福生市など）、三沢（青森県）の在日米軍基地からの参戦をあげているからです。また今年1月、日米外務防衛閣僚会議が横浜港のど真ん中に位置するノースドッグを沖縄・南西諸島に武器弾薬を運ぶ兵站基地とすることを決定しました。20年来、神奈川県と横浜市が米軍に返還を求めているにも関わらず一方的な決定です。住民要求を無視して戦争準備が全国で進められています。誰もが「台湾有事で在日米軍基地を使うな」「戦争反対」の声を全国各地から上げることが重要です。



生物多様性条約の 30by30

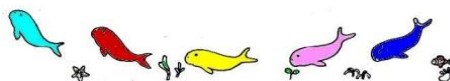


昨年 12 月、生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）で「昆明・モントリオール生物多様性枠組み」が採択されました。「2030 年までに生物多様性の損失を食い止め、回復傾向へ向かわせる」ために「保護区として確保すべき最低ラインである 30%の陸域・内陸水域・海域を目標とする」としました。また生物多様性保持の観点から、「重要な地域の損失をほぼゼロにする」ことも盛り込まれました。これを「30by30（サーティ・バイ・サーティ）」と呼んでいます。この国際目標実現に向けた国家戦略の策定が各国の課題になっています。日本は国立公園などに指定する形で陸域の約 21%、海域の約 14%を保全していますが、30 年までに 30%まで高めるため新たな保全区域の設定が必要です。

日本政府は 3 月に「次期生物多様性国家戦略」を閣議決定するために、パブリックコメントを 2 月に実施しました。

政府案は「30%」の数字合わせに汲々とし、「重要な地域の損失をゼロにする」視点がありません。私たちはパブリックコメントで「海域では、愛知県 COP10 の翌年に決定された『海洋生物多様性保全戦略』をふまえ決定された『生物多様性の観点から重要度の高い海域』の沿岸域 270 か所を提案しました。また、希少種や絶滅危惧種を守る為に「事業にノー」という国際水準の環境アセスメント制度」をつくることを要求しました。上記の沿岸域 270 か所には名護市東海岸が含まれています。また、国際水準の環境アセスメントは IUCN(国際自然保護連合)第 4 回世界自然保護会議（バンコク）で日本政府に勧告されています。

（事務局 蛭川 義章）



辺野古・大浦湾の海とやんばるの森を守る取り組み

ニュースレター先月号では生物多様性条約などの国際的枠組みを視野に入れた辺野古・大浦湾の海とやんばるの森を守る取り組みの可能性について紹介した。今回はここ 2 ヶ月間の具体的な取り組みを報告したい。

辺野古・大浦湾の海

まず SDCC が中心となって 2021 年 4 月より問題化してきた「ジュゴン絶滅論文」への私の反論コメントがこの 2 月から同論文を掲載した Scientific Reports (SR) で読めるようになった。

同論文の著者 5 人の内 3 人は辺野古新基地建設に関わる防衛省が設置した「環境監視等委員会」のメンバーだ。ジュゴンが絶滅したという主張が受け入れられたのならば、ジュゴンを旗頭として辺野古・大浦湾の保護を訴える取り組みが成り立たなくなる。反論コメントでは、同論文が「絶滅」と「近絶滅」という概念を同列に使っている問題や、著者らが基地建設と密接に関わりながら「利益相反はない」と主張した倫理問題等を指摘している。

反論コメントの掲載は、その内容を国際的学術誌 SR が査読し、適切だと判断したことを意味する。それは 2021 年に IUCN の海牛類専門家グループによる「(論文の) 絶滅したとする主張は信頼に値しない」という指摘を支えるものになっている。さらには基地建設の設計変更に対しての玉城デニー知事の不承認をめぐる裁判で、3 月 16 日に高裁は知事の主張を退ける判決を下したが、その判断に対して国際的に疑義を追求していく材料にもなり得る。(知事の不承認の根拠は、建設地における軟弱地盤の存在と工事によるジュゴンへの影響への懸念である)

次に 2022 年 9 月に米国連邦議会軍事委員会のメンバーに送った「書簡」の取り組みが、国内外の市民団体の協力により発展し、この 3 月の玉城デニー知事の訪米への貢献にも繋がっている。

「書簡」は、辺野古新基地建設の問題と普天間飛行場の危険性について、包括的、かつ米国内の法律や取り組みとの比較を通して、具体的に示し、その解決を求めたものだ。この書簡を通して同基地建設の問題への理解を深めた海外の市民団体も多い。

特に「書簡」への賛同を呼びかけてくれた ZENKO、米国の Democratic Socialists of America の国際委員会、そしてアジア系労働組合 Asian Pacific American Labor Alliance は、玉城知事の訪米に向けて米国市民／有権者の立場から協力してくれた。それが玉城知事と連邦議員との面談の実現に貢献したといえよう。

やんばるの森

ユネスコ世界自然遺産であるやんばるの森を「真の世界自然遺産」にするためのドイツ、ベルリンの NGO、World Heritage Watch(WHW)との連携が 2 年目を迎える。米軍の訓練のない、そして米軍廃棄物のないやんばるの森を目指す取り組みだ。この 3 月 3 日に市民社会から新たな報告文を WHW に提出しており、それをもとに 3 月 29 日に WHW 主催のユネスコ世界遺産センターと NGO の会議に私が参加する。

今回の報告文では、市民社会が情報開示法で入手した「米軍廃棄物」の撤去に関する防衛局の報告書をもとに、同問題を環境省が世界遺産センターと IUCN に伝えるように、ユネスコ世界遺産センターから要求するよう求めている。また軍事訓練の影響の調査を行わない環境省、防衛省、米軍に対して調査するように強く促すように世界遺産センターに求めている。報告文は SDCC の省庁交渉を踏まえている。

また 2 月からは、地域住民の協力を得て、世界遺産であるやんばるの森への米軍の訓練の影響について情報を収集する「やんばるの森 世界自然遺産ウォッチ」が始まっている。その中間報告をユネスコ世界遺産センターとの会議で行う予定だ。

さらに米軍廃棄物問題に関しては、宮城秋乃さんが裁判で訴えられており、多くの人々が懸念している。SDCC としては、秋乃さんの主張が正当であることを国際社会でもきちんと示すことにより、秋乃さんを支えていきたい。(国際担当 吉川 秀樹)



沖 縄

2月26日 沖縄県庁前広場 緊急集会に参加



2月26日、沖縄県庁前で開催された「島々を戦場にす
るな！沖縄を平和発信の場に！2・26 緊急集会」に参加
しました。

前日の25日から、「辺野古ブルー-HYOGO」の仲間と
5人で沖縄入り。25日には辺野古に向かう途中、西原町
の「月桃」歌碑を訪問。26日午前中、瀬高の HOPE
SPOT 看板を訪問し、14時の集会開始に間に合うように
那覇へ。県庁前広場は参加者で一杯。家族連れや若者の姿
も目立ちます。手作りのプラカードやバナーを持った参加
者も多く、とてもカラフルな集会でした。私たちは「辺野
古ブルー」のバナーを広げて、会場に座り込みました。

実行委員長はガマフヤーの具志堅隆松さん。司会は平良
友理奈さんと瑞慶覧長風さん。シニア層と若者をつなぐ集
会にしようと実行委員会で繰り返し議論がされ、「争うよ
りも愛しなさい」という、人気のラッパーの歌詞から引用
した集会キャッチフレーズも採用されたとお話されまし
た。集会は辺野古、宜野湾、嘉手納爆音訴訟、落下事故
のあった宜野湾の緑ヶ丘保育園の母親、宮古、石垣、与那

国への自衛隊ミサイル配備に反対する地域住民、中国と
の民間友好交流をすすめる NGO の方など琉球孤全体か
ら、軍事化の現場で抗う人々がリレーアピールしました。

次は万単位の県民集会を行い、「台湾有事」を口実とし
た日米共同作戦強化、自衛隊ミサイル配備を許さない県
民世論をもっと強め、日本政府を動かそうと訴えられま
した。
(関西 松島 洋介)



辺野古ブルーのバナー

生物多様性条約を守らない防衛・環境省～4・14政府交渉で

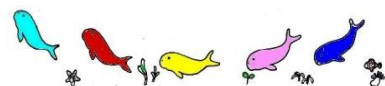
SDCC 結成以降、毎年2回(4, 11月)の政府交渉(防衛
省、環境省)を取り組んできました(時には外務省も)。交渉
相手は国会答弁を書く課長補佐たち。防衛省交渉の重点は、
「辺野古新基地建設の設計変更申請が軟弱地盤を改良する
ための設計変更であることを米国政府は承知し、了解してい
るか」を確認します。日米間の意思疎通が不十分だからです。
昨年10月米国連邦議会上院軍事委員会委員長は、沖縄タイ
ムスのインタビューに「(軟弱地盤などの問題を詳述した私
たちの書簡に目を通して)現状の理解に努めたい」と答えて
います。軟弱地盤工事が生物多様性豊かな大浦湾の環境に大
きな影響を与えることを懸念しているからです。19年12
月にIUCN(国際自然保護連合)が日米両政府に「新基地建
設工事がジュゴンの餌場である大浦湾の海草藻場に影響を
与えないこと」を警告。昨年12月生物多様性条約COP15
は「陸海の30%を保護区に」を採択するなど地球の保護が
国際世論だからです。環境省交渉ではCOP15をふまえて
策定中の次期国家戦略で「陸海の30%の保護区」がどのよ
うに具体化されているかを追及します。そして、名護市東海
岸が対象になっているか否かを追及します。

地元沖縄県がHope Spotの大浦湾を推薦している
ことをふまえて、環境省の意見を求めます。また、この
間の追及で環境省に公表させた「19年版在沖米軍の自
然資源管理計画」をふまえて、やんばるの森を真の
世界自然遺産にするための追及を強めます。

(事務局 蜷川 義章)



2022.11.25 防衛省交渉の様子



ご案内

第5回オンラインセミナー 辺野古埋め立てをめぐる住民の訴訟



辺野古埋め立てをめぐるのは、県が国を相手に提訴している訴訟のほか、県が行った「埋め立て承認の撤回」と「設計変更の不承認」について国土交通相が取り消しを行ったことに対し、地域住民が国交相裁決の取り消しを求め提訴しています。国民の権利を救済する目的で作られた行政不服審査法を国の機関が使って裁決したのは法の濫用・悪用であり、違法だと訴えているのです。仮に基地が出来てしまえば、もっとも被害を受けるのは辺野古・大浦湾沿岸の住民です。しかし裁判でなかなか原告適格が認められていない状況です。

今回のセミナーでは、1990年から沖縄に住み、辺野古新基地建設の住民運動にかかわり続けてきた浦島悦子さんに、「住民の訴訟」の経過や意義について、また辺野古の現状についてお話しいただきます。ぜひご視聴ください。

日時：6月11日（日）午後2時～3時半
講師：浦島悦子（名護市東海岸在住、フリーライター）
参加費：500円

配信方法：YouTube チャット機能で質問を受け付けます
申し込み方法：info@sdcc.jp にメールでご連絡の上、6月9日（金）までに参加費500円をお振込みください。入金確認後YouTubeの配信アドレスをお送りします。
振込先：ゆうちょ銀行 加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

*終了後一か月間アーカイブ視聴できますので、当日視聴できない方の申し込みもお待ちしております。



沖縄愛楽園（ハンセン病療養所）でお話される、浦島悦子さん



アースデイ TOKYO2018 でのSDCCブースの様子

首都圏

アースデイTOKYO2023にブース参加します

4月15日（土）～16日（日）に代々木公園で開催される「アースデイ東京 2023」にブース参加します。コロナ禍の影響で、2020年～2022年は参加を見送ってききましたが、新型コロナウイルス感染症について、「マスク着用の考え方の見直し」が示されるなど、一定の収束傾向が見られることから参加することとしました。

アースデイの歴史は、1970年4月22日に、米国上院議員のゲイロード・ネルソンが環境問題の討論集会を開催したことをきっかけに生まれました。今では、世界175カ国、約5億人が参加する世界最大の地球フェスティバルです。「アースデイ東京」は2001年から代々木公園で開催を続けてきました。

今年のテーマは、「ファミリーアース。誰もが歓迎されるやさしい

場所へ」です。「地球」で結ばれた家族＝「ファミリーアース」をコンセプトに、人だけではなく、他の動植物、微生物、さらに、空気、水、土、地球を構成するあらゆるものが、かけがえのない大切なファミリーアースの一員です。家族のように、老若男女、立場役割をこえて、多種多様な人が集まり、お互いを尊重し、地球の未来を一緒に考えることがアースデイのビジョンです。

私たちSDCCも沖縄のジュゴン保護～基地建設ではなくジュゴンの保護区を！Hope Spotキャンペーンを広げたいと思います。また好評の手作りジュゴングッズなど多数揃えて販売していきます。ぜひ一緒にアースデイ東京2023に参加しましょう。



（首都圏 三村 昭彦）

交流広場

今回は毎年ツアーの時にピースキャンドルに参加させて戴いている名護出身の渡具知さん。現在沖縄国際大学で「障害者と平和」について研究中。先天性感音性難聴があり、手話の必要性を沢山のの人に「日本手話」で伝える活動にも力を入れておられ、基地問題や、日本手話、障害者のバリアフリーなど多面的に活動をされています。

平和な世紀をつくる人に私はなる

私は、名護市辺野古の近くにある瀬高で生まれ育ちました。家から徒歩3分で行ける大浦湾では、全国のニュースでも取り上げられている「辺野古新基地建設」の状況を把握することができます。「海の輝きは、命の輝きであり、私たちの希望である」ということを教えてくれたのは、日本の偉い政治家でもなく、私たち人間でもなく、生まれた時から静かに私を見守ってくれた「大浦湾」なのだ。

この「大浦湾を守り続け、本来の「命どう宝」を世界へ発信し続けたい」という思いから、私たち家族は、ピースキャ

ンドルなど様々な活動に参加してきました。高校からは、ピースキャンドル以外にも、平和集会やデモ抗議などに積極的に参加し、自分の思いを日本へ、世界へ発信してきました。

また大学3年生（2022年）の9月に行われた「沖縄県知事選挙」の活動にも参加し、「動かなきゃ何も始まらない。」ということをやより体感することができました。選挙活動では、玉城デニー知事を招いてのトークや質問コーナーを設けた企画をSNSで配信するなど、沢山の若者が「選挙は面白い」と思ってもらえるような企画・活動をしてきました。これからは、障害がある人もない人も、気楽に「沖縄の未来」について語り合える企画を沢山設けて、玉城知事が言う「誰1人取り残さない社会」をみんなで作っていただきたいと思います。

動物や海で泳ぐ魚たちや、障害がある人、弱い立場に置かれて苦しんでいる人たちの「命」も尊重され、本来の「命どう宝」を沖縄から世界へ見せていきたい。その日まで私は、走り続けます。（沖縄県在住 渡具知和純）

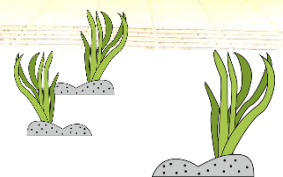


大浦湾は地球の宝！ですね！



県知事選で玉城候補を招いたイベントにて。左は妹の和奏さんと。

糸満で県外の中学生へ平和ガイド



⑦んさか通信★ジュゴンの⑦

「幻のジュゴンを追う」を観て（2/25 NHK放送）

NHK が沖縄で最後に野生のジュゴンを撮影したのが2014年、2018年から5年間姿さえ確認できていない。

しかし宮古島本島から橋でつながる伊良部島の「佐和田の浜」、ここでは2019年頃からジュゴンの目撃情報が相次いでいる・・・

ということで NHK が京都大学、沖縄県環境科学センター、美ら海水族館と協力して2022年8月からジュゴンの痕跡を共同調査したのが、表題のドキュメンタリー番組だ。

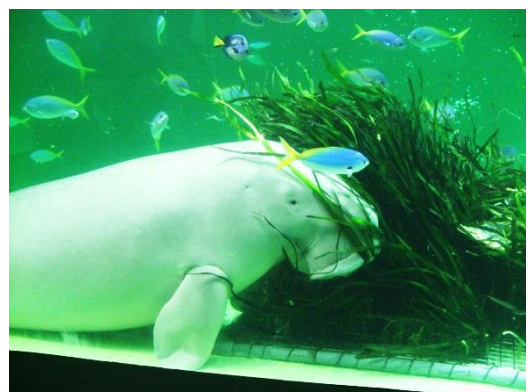
ジュゴンの主食であり1日およそ30kg食べるといわれている海草、その海草藻場で幅30cmの筋状に食べられた跡が15地点で確認された。同じ海草を食べるアオウミガメのは、食み跡は丸い形になるそうだ。

定点カメラを設置し鳴き声（タイのジュゴンのもの）を流したり模型や録音機を置いたり、流れ着いた糞をみつけてDNA鑑定をしたり。

残念ながらジュゴンの姿はとらえられませんでした。し
せつじおん そしゃくおん
かし摂餌音（切断音と咀嚼音、海草を食べる音）とウンチはジュゴンのものであるという証拠がとれたのです。

今年は姿を見せてくれることに期待！！

（沖縄 小平裕美）



鳥羽水族館のセレナちゃん。

龍宮神信仰の残影 — ~こらむ・コラム~

陰暦 2 月 15 日は二月ウマチーの日だった。朝、独り愛車を走らせ平安座島に向かった。約束の 9 時半、神屋に着くと、同じ男神人の同級生柴引君が待っていた。二人とも今年で 80 歳だ。ノロも神女もない神行事を続けもう何年か。SDCC を立ち上げた頃までは、まだ神女たちがいて賑やかだったが、近年は若い男二人だけのウマチーである。昨年の夏以降は私が入院していたため、柴引君も大変だったと思う。神行事に参加するのは旧正月の年頭祈願以来だったが、やはり西グスクと東グスクの御謝に上り、直接「神」に感謝の言葉を述べることでほっとした。

それにしても不思議だ。昨年 7 月にギランバレー症候群を患い入院したときに、不安を感じたことは一度もなかった。むしろ遅々と進めぬ龍宮神信仰の歴史解明を急げとの「神」のシナリオにさえ思っていた。

そこで入院中考えたのが平安座島に関するオモロを読み解くことだった。大乱後の倭国を世直したヒミコが、奈良の三輪山を御神体にして大神神社を建て、そこを倭国における龍宮神信仰の拠点としたことまでは分かっている。では奴国における龍宮神信仰の拠点はどこ

だったか？を考えると、どうやらそれが平安座島の西グスクであったことが、オモロから読み取れたのである。いや、そればかりではない。平安座神奴社と呼ばれた信仰の拠点が、第二尚氏の尚真王の代に首里城に移されていたことが、与佐次河のオモロから読み取れたのであった。

詳しくは 後でまとめて発表することになるが、つまり、首里城正殿は日子、即ち倭迹々日百襲姫と龍宮神を祀る社であったということである。その後、中国の皇帝康熙帝から寄贈されたという「中山世土」の扁額が、正殿に掲げられるようになるが、その意味するところが「琉球の奴国首里城は、龍宮神信仰の三神山の中心であり、また龍宮神に守護された理想郷である」とのことであった。つまり、中国の皇帝が琉球王国をそのように認めていたということは、中国の宗主国は琉球であると認めていたに等しく、政治的に大きな意味を持つということである。だが、今や龍宮神信仰の形骸化著しく、悲しい時代だ。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

広めてください！ ホープスポット・キャンペーン HopeSpotのリーフレットができました！



改修してホープスポット船が造られ、安部海岸の入り口に 2 つ目の看板ができています。機会があればぜひ訪れてください。

SDCC は、ジュゴンが棲む辺野古の海がホープスポットの仲間入りをしたことを、多くの人に知ってほしいとリーフレットを作成しました。土砂投入が始まってから、辺野古の海にジュゴンは姿を見せなくなりましたが、まだ間に合います。これからです！新たなジュゴンストーリーの始まりです。創るのは私たち。基地建設を止め、ジュゴンの貴重なえさ場である海草藻場を再生し、ジュゴンが帰ってくる海を取り戻しましょう。それがこれから創っていく未来（ストーリー）。まさしくホープスポット・希望です。どうぞあなたも一緒に。

今号にシールと一緒にリーフレットを同封しています。どうぞご覧ください。（関西 池側恵美子）

辺野古・大浦湾一帯が、2019 年に HopeSpot（ホープスポット）に認定されたときは、ヤッター！と大喜びしました。土砂投入が始まり、埋め立て工事の強行が続く中、辺野古の海は守るべき海なのだと、世界が認めたのです。

2022 年には地元の方々と日本自然保護協会の尽力で、名護市東海岸・瀬嵩の浜の入り口に看板が設置され、にぎやかに除幕式が開かれお披露目されました。そして、サバニを

☆周りに広げて頂ける方、メール（巻頭又は巻末参照）にてお知らせください。送料（+カンパ）でお送りします。お届け先住所、部数を明記ください。ご連絡をお待ちしています。



INFORMATION



<全国・首都圏>

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・4/1 (土) 11:00～ 新宿南口スタンディング
”辺野古新基地建設許さない”新宿南口スタンディング
呼びかけ) 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
- ・4/3 (月) 18:30～ 防衛省前抗議行動 場所 防衛省前
主催 辺野古への基地建設を許さない実行委員会
- ・4/14(金) 対政府交渉 防衛省・環境省
11:15 参議院議員会館 ロビー集合
参加希望の方は、info@sdcc.jp に早めにメールをお願いします。
- ・4/15(土) 4/16(日) アースディ TOKYO2023
SDCC ブース参加 代々木公園
- ・6/11(日) 14:00～第5回オンラインセミナー 浦島悦子さん

- ・3/30 (木) じゅごん茶話会 14時～ 関西事務所
- ・4/6 (木) 戦争あかん！ロックアクション御堂筋デモ
18:30～ 場所：新阿波座公園
- ・5/3 (水) 輝け憲法 平和といのちと人権を 2023
14:00～ 扇町公園 メインスピーチ 猿田佐世さん
主催 おおさか総がかり行動実行委員会
- ・6/23 (金) 沖縄と共に戦争に反対する 6.23 平和の集い
大阪北区民ホール 18:00 開場 講師 前泊博盛さん
主催：集会実行委員会 (講演はオンライン)



☆ 第1～4回オンラインセミナーアーカイブ ☆



第1回 2022年4月17日 ジュゴンの棲む海はHope Spot「希望の海」

講師：安部真理子（日本自然保護協会）

吉川秀樹（SDCC 国際担当、Okinawa Environmental Justice Project）

YouTube 配信アドレス https://youtu.be/6EdQQfi_VzU



第2回 2022年7月30日

アキノ隊員に聞く 世界自然遺産やんばるの森に、今も残る米軍廃棄物

講師：宮城秋乃（チョウ類研究者）

YouTube 配信アドレス <https://youtu.be/pp0Ab77Fv4U>



第3回 2022年10月9日 ジュゴンの海とやんばるの森を守るための国際的取り組み

講師：吉川秀樹（SDCC 国際担当、Okinawa Environmental Justice Project）

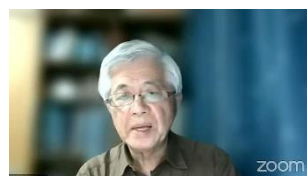
YouTube 配信アドレス <https://www.youtube.com/watch?v=zgh6xQuVmBg>



第4回 2023年1月22日「PFAS 汚染が問うているもの」

講師：桜井国俊（沖縄大学名誉教授、沖縄環境ネットワーク世話人、
PFAS から市民の生命を守る連絡会共同代表）

YouTube 配信アドレス <https://youtu.be/L452NOVKxTs>



ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.127 2023年3月28日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
(首都圏事務所) 〒162-0815 東京都新宿区新小川町6-38
大曲マンション201号 なかま共同事務所内
(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町2-9-21 京橋ベース302号
連絡は以下のメールにて受け付けております。
○ URL <http://www.sdcc.jp/> ○ E-MAIL info@sdcc.jp

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは：ゆうちょ銀行 〇一九支店

口座番号 普通 0660199

*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします。
お問い合わせは、上記メールへお願いします。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！



SDCC の website
<http://www.sdcc.jp/>
には、左記QRコードより
アクセスできます